

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 日本トリム
コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 田原 周夫
(氏名) 尾田 虎二郎

TEL 06-6456-4600

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 15,618 | 16.5 | 2,472 | 42.7 | 2,580 | 39.8 | 1,710 | 43.7 |
| 2023年3月期第3四半期 | 13,411 | 7.2 | 1,733 | 1.2 | 1,845 | 3.8 | 1,189 | △32.5 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,971百万円 (37.1%) 2023年3月期第3四半期 1,438百万円 (△24.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 223.13 | — |
| 2023年3月期第3四半期 | 155.22 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 30,608 | 23,128 | 71.5 | 2,854.08 |
| 2023年3月期 | 29,046 | 22,128 | 72.4 | 2,743.39 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 21,876百万円 2023年3月期 21,028百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 120.00 | 120.00 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 85.00 | 85.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 40円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,800 | 10.3 | 2,720 | 14.4 | 2,850 | 13.3 | 1,870 | 13.6 | 243.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期3Q | 8,656,780 株 | 2023年3月期 | 8,656,780 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 991,713 株 | 2023年3月期 | 991,667 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期3Q | 7,665,110 株 | 2023年3月期3Q | 7,665,513 株 |

(注) 当社は、前第4四半期連結会計期間より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は15,618百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は2,472百万円（同42.7%増）、経常利益は2,580百万円（同39.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,710百万円（同43.7%増）となりました。売上高につきましては、第3四半期連結累計期間として過去最高を更新いたしました。また、2023年5月11日に公表しました業績予想に対しても好調に推移しており、売上高は期初計画比78.9%、営業利益は同90.9%、経常利益は同90.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益は同91.5%の進捗となっております。

当社グループは、2027年3月期 連結売上高320億円を目標とし、その実現並びに中長期的な企業価値向上を目指し、以下の3点を重点的に取り組んでおります。

1. 主事業である整水器販売事業の直接販売部門の効率化を伴う量的拡大
2. 整水器販売事業の卸・OEM部門における海外展開の拡大
3. 世界に先駆けた電解水透析の普及と、保険適用も視野に入れた研究開発等の活動

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

当第3四半期連結累計期間の整水器販売事業における国内の整水器売上高は6,960百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

職域販売部門では、営業活動が正常化し、セミナー開催数がコロナ禍前の水準に回復してきたことに加え、スポーツ分野、美容分野における新たな販路開拓が進みました。取付・紹介販売部門ではユーザー様向けのイベントを再開し、店頭催事販売部門では展示会等の来場者数がコロナ禍前の水準に戻ってまいりました。

卸・OEM部門におきましては、売上高が前年同期比84.4%増と大幅に伸長いたしました。直接販売部門と同様にコロナ禍の収束により既存OEM先への販売支援活動が活発になったことや、当期より稼働した新規OEM先との取引も順調で、出荷数は引き続き増加傾向にあります。海外向け取引につきましては、従来から引き合いのありましたベトナム向けの出荷が増加したほか、香港、フィリピン向けの取引が本格的に開始いたしました。この他の東南アジア諸国向けの具体的な商談も進めており、海外向け取引は今後さらに拡大してまいります。

WEBマーケティング部門では、1台当たりの販売コストを維持し、利益率を重視した運営を行っております。自社メディアの育成にも引き続き注力するとともに、販売プロセス効率化による購買率向上にも取り組んでまいります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売につきましては、昨年4月に実施した価格改定が寄与し、売上高は4,150百万円（同8.8%増）と順調に推移しております。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOでは、当第3四半期連結累計期間（2023年1月～9月）におきまして、昨年1月に実施した卸ルート的大幅変更並びに今年度第2弾となるテレビCM（7月～8月）の効果も寄与した結果、ペットボトル、ガロンボトルともに月間売上高過去最高を更新し、売上高が1,637百万円（前年同期比21.5%増）となりました。利益面におきましては、テレビCMをはじめとする次期以降を見据えたマーケティングへの先行投資を積極的に実施した結果、26百万円の営業損失（前年同期は124百万円の利益）となりました。マーケティング施策強化の効果は確実に現れており、第4四半期では売上高はさらに伸長し、営業損失の解消も確実と見込んでおります。

研究開発におきましては、神戸大学との共同研究講座「エッセンシャルヘルスケア科学共同研究講座」を始め、理化学研究所、東京大学、東北大学、早稲田大学等と、電解水素水の効果とその機序解明とともに新たな事業シーズ探索を目的とした共同研究を引き続き進めております。現在、学術誌出版社MDPI（本社：スイス）の専門誌「Antioxidants」において水素に関する特集で論文が公募されており、当社関連で2報がアクセプトされたので、近日中にリリースを予定しております。また、追って同誌に5報が投稿される予定のほか、東京大学や早稲田大学との共同論文も3報準備中であり、掲載され次第、順次リリースを発信してまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は13,616百万円（前年同期比16.4%増）、セグメント利益は2,139百万円（同41.0%増）となりました。

[医療関連事業]

電解水透析事業では、腎臓関連の学会、各地の臨床工学技士会でのセミナー展開など、活動域拡大に取り組むとともに代理店との連携を強化して新規案件開拓に注力しております。一方で透析患者の方々への認知向上を目的とした広報活動にも取り組んでおります。本年7月7日に、「電解水透析の臨床導入から15年、～電解水透析 第2章始動～」というテーマで第1回電解水透析研究会・学術集会在開催される予定です。電解水透析に関する認知、理解がさらに進み、電解水透析普及促進の大きな後押しになるものと考えております。

電解水透析は、透析患者のWell-beingに大きく寄与できる革命的な技術であり、引き続きエビデンス強化と透析装置の改良に取り組み、次世代のグローバルスタンダード療法としての普及拡大を目指します。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分72.1%）が売上高、利益ともに過去最高を更新いたしました。同社は2024年3月期第3四半期決算を当社と同じく2月7日に発表しておりますので、詳細につきましては同社決算短信をご参照ください。

中国の病院事業につきましては、引き続き現地パートナーと協力して取り組んでおります。

以上の結果、医療関連事業の売上高は2,002百万円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は333百万円（同54.7%増）となりました。

当社グループは、「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて人々のWell-beingに貢献することが我々の使命です。「社会はいつでも我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は30,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,561百万円増加（前期比5.4%増）いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が506百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期預金が500百万円、現金及び預金が454百万円増加したことによるものであります。

負債は7,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ561百万円増加（同8.1%増）いたしました。主な要因は、前受金が277百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が136百万円及び株式報酬引当金が64百万円増加したことによるものであります。

純資産は23,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ999百万円増加（同4.5%増）いたしました。主な要因は、配当により971百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,710百万円の計上、非支配株主持分が151百万円及び為替換算調整勘定が82百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日「2023年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,795,930 | 13,249,946 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,160,185 | 5,667,096 |
| 有価証券 | — | 1,304,497 |
| 製品 | 488,000 | 615,753 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,089,184 | 1,052,961 |
| その他 | 387,770 | 203,085 |
| 貸倒引当金 | △26,712 | △27,363 |
| 流動資産合計 | 19,894,358 | 22,065,977 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 2,575,831 | 2,581,697 |
| その他(純額) | 1,800,577 | 1,890,312 |
| 有形固定資産合計 | 4,376,409 | 4,472,010 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 386,029 | 358,190 |
| その他 | 274,707 | 235,395 |
| 無形固定資産合計 | 660,737 | 593,585 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,801,696 | 1,695,912 |
| その他 | 1,363,477 | 1,830,058 |
| 貸倒引当金 | △49,698 | △49,113 |
| 投資その他の資産合計 | 4,115,475 | 3,476,857 |
| 固定資産合計 | 9,152,622 | 8,542,453 |
| 資産合計 | 29,046,980 | 30,608,430 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 525,012 | 488,131 |
| 未払法人税等 | 541,156 | 539,276 |
| 前受金 | 3,334,295 | 3,612,078 |
| 賞与引当金 | 178,458 | 66,481 |
| 製品保証引当金 | 73,000 | 94,000 |
| その他 | 1,253,451 | 1,439,412 |
| 流動負債合計 | 5,905,375 | 6,239,380 |
| 固定負債 | | |
| 株式報酬引当金 | — | 64,800 |
| 役員退職慰労引当金 | 280,159 | 291,816 |
| 退職給付に係る負債 | 360,343 | 389,309 |
| その他 | 372,479 | 494,584 |
| 固定負債合計 | 1,012,982 | 1,240,509 |
| 負債合計 | 6,918,358 | 7,479,890 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 992,597 | 992,597 |
| 資本剰余金 | 1,823,945 | 1,823,945 |
| 利益剰余金 | 21,660,473 | 22,398,990 |
| 自己株式 | △3,448,032 | △3,448,179 |
| 株主資本合計 | 21,028,983 | 21,767,353 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,159 | 28,334 |
| 為替換算調整勘定 | △89 | 81,991 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,627 | △939 |
| その他の包括利益累計額合計 | △557 | 109,386 |
| 非支配株主持分 | 1,100,196 | 1,251,800 |
| 純資産合計 | 22,128,622 | 23,128,540 |
| 負債純資産合計 | 29,046,980 | 30,608,430 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 13,411,374 | 15,618,263 |
| 売上原価 | 4,115,484 | 4,652,983 |
| 売上総利益 | 9,295,889 | 10,965,280 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,562,493 | 8,492,280 |
| 営業利益 | 1,733,396 | 2,472,999 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 17,379 | 22,163 |
| 持分法による投資利益 | 1,190 | 2,146 |
| 不動産賃貸料 | 61,845 | 61,952 |
| 為替差益 | 4,835 | 2,639 |
| 保険解約返戻金 | 7,219 | 5,305 |
| その他 | 34,139 | 42,644 |
| 営業外収益合計 | 126,609 | 136,851 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 695 | 2,751 |
| 貸与資産減価償却費 | 11,289 | 10,826 |
| 貸倒引当金繰入額 | 300 | 300 |
| 保険解約損 | — | 4,758 |
| その他 | 1,825 | 10,585 |
| 営業外費用合計 | 14,109 | 29,221 |
| 経常利益 | 1,845,895 | 2,580,630 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 628 | 2,012 |
| 投資有価証券売却益 | — | 22,327 |
| 新株予約権戻入益 | 28,720 | — |
| 事務所移転費用戻入益 | — | 1,829 |
| 特別利益合計 | 29,348 | 26,168 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,875,244 | 2,606,798 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 422,725 | 834,392 |
| 法人税等調整額 | 154,502 | △19,436 |
| 法人税等合計 | 577,228 | 814,956 |
| 四半期純利益 | 1,298,016 | 1,791,842 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 108,153 | 81,563 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,189,862 | 1,710,278 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,298,016 | 1,791,842 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,913 | 37,052 |
| 為替換算調整勘定 | 143,373 | 141,964 |
| 退職給付に係る調整額 | 956 | 281 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 781 | 685 |
| その他の包括利益合計 | 140,197 | 179,984 |
| 四半期包括利益 | 1,438,213 | 1,971,826 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,272,944 | 1,820,223 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 165,268 | 151,603 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|------------------|-----------|------------|-----|------------------------------|
| | ウォーター ヘルスケア事業 | 医療関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,616,121 | 2,002,141 | 15,618,263 | — | 15,618,263 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 13,616,121 | 2,002,141 | 15,618,263 | — | 15,618,263 |
| セグメント利益 | 2,139,360 | 333,639 | 2,472,999 | — | 2,472,999 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。